

菊池市 八洲開発に感謝状

地域に感謝し寄付金200万円

菊池市は18日、企業版ふるさと納税制度を活用して市に200万円を寄付した八洲開発(熊本県東区月出、中川廣社長)に感謝状を贈った。寄付金は今後、災害対策事業や文化財保護事業に役立つ。

同社の寄付は、2021年度、22年度に続き3回目。総額は今回を含め500万円となる。ボーリング機械等の保管・整備点検の



左から村田専務、中川社長、江頭市長

18日は、江頭実市長と北島悠子政策企画部長が機材センターを訪れ、江頭市長は「長年にわたり地元経済活性化のために多大な尽力をいただいている。3年連続という多額の寄付の温かい心に感謝したい」と述べ、中川社長に感謝状を手渡した。

中川社長は「TSMCの工場建設や半導体に関するサプライヤーの集積で地域全体が大き

く変容している。中九州横断道路のICも計画され、機材センターは今後九州全域に向けた要素となる。地の利を活かし、技術サービスの充実を図っていく」と挨拶した。

八洲開発 機材センターを市長らに披露

環境配慮型の施設へ



八洲開発は18日、開設40周年の節目としてリニューアルしている菊池機材センターを、感謝状贈呈で訪れた江頭市長らに披露した。

熊本北工業団地にある3300平方メートル事務棟、倉庫棟(S造2階建延べ660平方メートル)、資材置き場で構成。一般的な地質調査機械をはじめ、超軽量・分解型小型、環境調査用、さく井用、集水・横用など多様なボーリングマシンや資材を保管し、現場技術の

市によると、これまで同社から贈られた寄付金は、防災行政無線の新規設置や修繕、防災情報を発信するアプリの運営、文化財発掘調査などに活用している。

拠点となっている。リニューアルは、センターを環境にも配慮した施設とするため設備を増強するもの。このほど1期計画の倉庫棟の改装が完了し、来年度以降は太陽光発電の設置や電気自動車充電器の拡充などを予定している。

江頭市長らにセンターの概要を説明した同社の村田賢彦専務取締役は「市の政策分野にも掲げる自然に優しい環境に配慮したまちづくりに向けて、当社の設備や技術を役立てていきたい」と話した。

高森町補正

高森町は、12月補正予算で一般会計に5億9449万円を追加した。事業関係には、多目的広場改修費1億3250万円や町民体育館解体工費4500万円などを盛り

工事6件と若手技術者 芦北振興局の優良工事表彰



芦北地域振興局土木部優良工事等表彰式

芦北地域振興局は、2023年度の土木部優良工事等表彰に優良工事3件、働き方改革2件、特別表彰1件、若手技術者1人を選んだ。22日に同局庁舎で式典があり、佐藤産業、南興建設、野崎土木、松下組に表彰状が贈られた。

工事等へ貢献した企業・団体・個人を表彰する制度で19年度に創設した。令和2年7月豪雨の影響で20年度と21年度の表彰は中止しており、3回目。式典で橋口英介土木部長は「優れた技術と熱意を持って他の模範となる工事を完成した成果」と受賞者に対し、表彰状を

顕彰シールを手渡した。受賞者は「良い工事ができるよこれからも勉強を続ける」「日々努力し模範となるような現場をつくらせていく」「新技術等の研鑽に努め建設業界の役に立ちたい」と今後の目標などを述べていた。

(敬称略)

*優良工事表彰

- 【土木一式工事部門A1・A2】
- 松下組 水俣田浦線道路補修補助事業(橋梁)
- 栄橋上部工工事
- 【土木一式工事部門B・C】
- 野崎土木 小津奈木川(2605)2年発生河川災害復旧工事
- 【舗装工事部門】
- 松下組 二見田浦線

- 力創出基盤交付金(舗装新設)工事
- *若手技術者表彰
- 津々木渥大(松下組)
- 吉尾川2年発生河川災害関連(その1)工事
- *働き方改革表彰
- 【ICT土工部門】
- 南興建設 水俣田浦線(福浦2)活力創出基盤
- 交付金(改築)道路改良工事
- 【ICT舗装工部門】
- 松下組 二見田浦線活力創出基盤交付金(舗装新設)工事
- *特別表彰
- 佐藤産業 滝の上災害関連緊急急傾斜地崩壊対策工事。



独自顕彰

芦北地域振興局は優良工事等表彰の顕彰シールを作成し、2023年度から局独自の取り組みは受賞した主任技術者・代理人が現場で使用シールに貼ることができ、表彰状では、優良工

支庁等、要員に属す